



2学期がスタート…!

12月23日までの82日間!

35日間の夏休みが無事終了し、本日2学期がスタートしました。2021の夏は、子どもたちにとって思い出に残る休みとなったでしょうか。始業式での児童の思い出の発表にも、七面山登山に挑戦したとか、家で近くの竹やぶから竹を切り、それで流しそうめんをして楽しかったなど、ご家庭においても工夫して、安全かつ思い出に残る経験をさせていただいたことが伝わってきました。きっと、感染対策へのご配慮も、たくさんしていただいたことと思います。ご協力に、改めて感謝いたします。

ニュース等で連日伝えられているように、心配されたコロナ感染状況は予想をはるかに超える拡大を見せ、大人もですが子どもたちも、とても心配をしながら過ごしたことは想像に難くありません。

今日の始業式では、児童・教職員の全員が、無事に再会できたことにまず安堵した事を伝えました。災



夏休みの思い出と2学期頑張りたいことの発表

害級といわれる現在の状況では、いつだれが罹患してもおかしくない状況です。今年の今日も児童には伝えましたが、万が一の時には、罹患したことを責めるのではなく、思いやりを持った対応をすることが大切だと話しました。厳しい状況の中、学校でも、町教育委員会と協議する中で、感染リスクを下げるための方策をとることを決定しました。別紙の、「下校時刻変更について」の通知も配布させていただきましたので、保護者の皆様のご理解とご協力を、今しばらくお願いいたします。

思いを馳せる…

人の気持ちに寄り添うことで…

今夏、東京五輪とパラリンピックが開催されました。開会式や各競技を、テレビを通して観戦した児童も多かったことと思います。私も、感染リスクを下げるためにはテレビ観戦と決め込んで、様々な競技での選手たちの活躍や大会関係者の心温まるニュースなどを見て、たくさんの事を感じました。山日新聞には県関係選手の活躍も報道されましたが、競技でのほんの一瞬の時間のために、何年間も努力し続けてきたそれぞれの選手の頑張りは、成績に関係なくみんな金メダルだと思いました。

今日の始業式で子どもたちには、パラ開会式で「片翼の小さな飛行機」役を演じた、中学2年生の記事について話しました。「その舞台に立つまでに、勇気を出して挑戦し、努力し、世界中の人々を感動させた一人の少女の心の内に思いを馳せてみてください」と。「思いやる」ことは時には難しいけれども、「思いを馳せる」ことは、それよりも少しハードルは低いのかなと思います。その人が、どんな気持ちで、何を考



登校したら、まず外での消毒と検温から



今朝の山日新聞の記事より

えて行動しているのだろうか、その「思い」に思いを馳せることで、自分以外の人に対する気持ちの持ちようが変わってくると思うからです。同じことは、学校生活の中にも言えます。隣にいる友だちは、今どんな気持ちなのかな、何か悩んだり苦しんだりしないか、などと思い馳せることで、人間関係は自ずと違ってくると思うからです。

2学期は、1年の中でも最も長い学期となります。10月には運動会、11月には2年ぶりとなるバンドフェスティバルの開催が予定されています。今日の始業式で、児童を代表して発表してくれた子どもたちの言葉の中にも、それらの行事について触れられており、児童自身がそれぞれ頑張っていこうという強い決意を持っていることが伝わってきました。特に6年生にとっては、すべての行事に「最後の」という枕詞が付きまします。大きな行事を控えている学期ですが、目標をもち、一つ一つ大切に取組んでいくことで、達成した時の喜びの大きさもまた、全く違うものとなる事でしょう。

82日間を、安全に、そして有意義に過ごしながら、子どもたちの成長を促していけるよう、私たち職員も頑張りたいと思います。今学期も、よろしくお願いいたします。



初日にも関わらず、式ではみんなとても良い姿勢でした。校歌は、1番のみ歌いました。担当の先生からは、「安全にそして健康に過ごしましょう!」、という内容のお話がありました。児童たちは、真剣に目と耳と心で聴いていました。式終了後は地区別集会を行い、2学期も安全に登下校するために、必要事項を確認しました。特に、バスの中での過ごし方を確認し、感染防止のために「おしゃべりは厳禁で…」ということ約束しました。

午前中は、各学年とも学級会議などをして2学期の新しい役員を決め、久しぶりの給食も、「黙食」でおいしくいただきました!

